

平成26
年度版
2014



知りたい!

ひと

まち

自然



印西の環境



平成26年度版 印西市環境白書 概要版

千葉県
印西市



生物多様性 ってなんだろう？

世界には、3,000万種もの生きものが暮らしていると言われ、それらが互いに支え合って生きています。このように、豊かな個性をもつ多様な生きものが存在すること、そしてその生きもの同士のつながりのことを「生物多様性」と言います。

生物多様性の3つのレベル

生物多様性には、生態系・種・遺伝子の3つのレベルがあります。

生態系の多様性

森林、湿原、干潟など様々な生態系があること

種の多様性

動物から微生物まで様々な生きものがいること

遺伝子の多様性

同じ種の中で形や性質などに個体差があること

生物多様性は、私たち人間の暮らしとも深く関わっています。水や食料はもちろん、気候や文化まで、私たちの暮らしは、多様な生きものが関わりあう生態系からの恵み(生態系サービス)に支えられているのです。

生態系サービス

基盤サービス

酸素の供給、気候の調節、水や栄養素の循環など

文化的サービス

自然と一体となった地域の伝統文化など

供給サービス

食料、繊維、木材、医薬品など

調整サービス

津波の軽減（サンゴ礁）、土砂災害の軽減（森林）など

しかし20世紀以降、人間活動の影響によって地球上の生きものが次々と絶滅し、生物多様性が急速に劣化しています。日本も例外ではなく、日本の生物多様性は、以下の4つの危機にさらされていると言われています。

- 第1の危機** 開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少
- 第2の危機** 里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- 第3の危機** 外来生物や化学物質などの持ち込みによる生態系のかく乱
- 第4の危機** 地球温暖化など地球環境の変化

生物多様性を 守ろう！

生物多様性を守るために、私たちには何ができるのでしょうか？
例えば、外来生物の問題を考えると、
私たちに約束できることは

「一度飼い始めた生きものは、野外には放しません」

ということです。捨てられたり、逃げたりした生きものが外来生物の原因になる場合があります。ペットとして飼い始めた動物や育てている植物は、責任を持って面倒をみましょう。

他にも、「自然や生きものとふれあう」「活動に参加する」など、できることをみんなで考えて、行動しましょう。

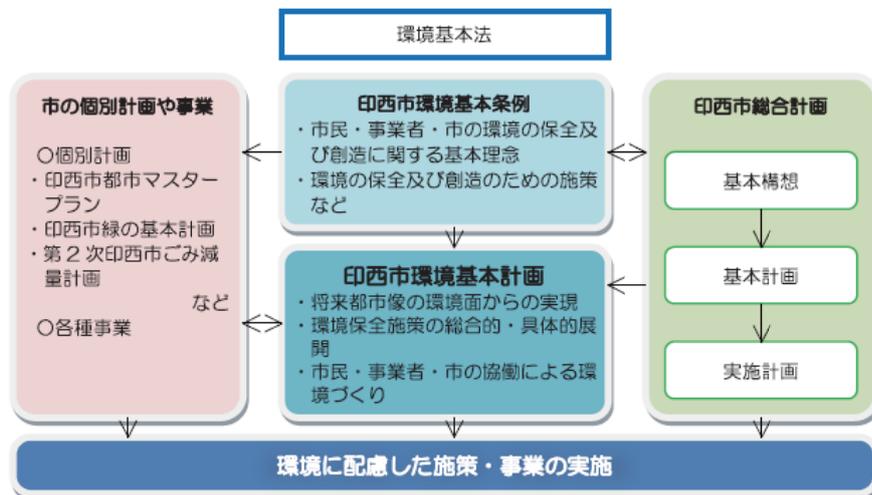
詳しく知りたい人は…

環境省生物多様性センター <http://www.biodic.go.jp/biodiversity/>

千葉県生物多様性センター <http://www.bdcchiba.jp/>

位置づけ

印西市環境基本条例に基づき、本市の良好な環境づくりに向けての基本的な考え方、目標及び達成手段を示すもので、計画期間は平成 25 年度から平成 33 年度までの 9 年間です。



印西市が目指す「将来環境像」と、達成のための「5つの基本目標」

将来環境像

「ひと まち 自然」が調和し
豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい

基本目標 1
【自然環境】 緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して ……2 ページ

基本目標 2
【生活環境】 安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して ……4 ページ

基本目標 3
【都市環境】 都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して ……6 ページ

基本目標 4
【地球環境】 低炭素社会の構築に向けた地球環境に負荷を与えないまちを目指して ……8 ページ

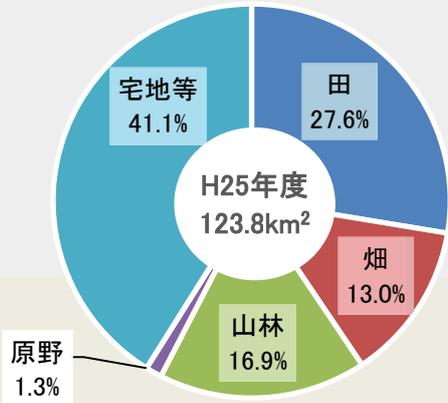
基本目標 5
【人づくり】 環境配慮行動の実践者を拡大し、みんなで環境を育てるまちを目指して ……10 ページ

緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して

土地利用の状況

● 田、畑、山林、原野の割合

58.9%



伊西市は農地や樹林地が多く、里山の緑に恵まれています。宅地開発や農家の後継者不足による緑の減少が心配されています。

農地の保全

農業は伊西市の主要産業であり、季節ごとの田園風景は市を代表する景観を形作っています。

伊西市でとれた野菜や果物などの農産物を市内で消費する地産地消を進めるため、市では農産物のブランド化にも力を入れています。また、伊西市のマスコットキャラクター「いんザイ君」がプリントされた青果用袋を包装に使用していただくことで、「伊西市産」をPRしています。



▲ いんザイ君が伊西市産の野菜をPR

伊西市の生きもの

市内には、植物 803 種、動物 539 種が確認されています。中には、絶滅が危惧されている重要な種も見つかっています。

ギンイチモンジセセリ ▶



◀ サシバ

クマガイソウ ▶



◀ カワセミ

● 生きものの確認種数

分類群		確認種数(重要種)	
植物		803	(36)
動物	哺乳類	9	(1)
	鳥類	102	(53)
	爬虫類	11	(10)
	両生類	6	(4)
	昆虫類	387	(29)
魚類		24	(10)

平成 23 年度自然環境調査

< 外来生物ってなんだろう? >

もともとその地域にいなかったのに、人に連れてこられたり、人や物に交ざって入ってきた生物が外来生物です。外来生物は生態系への悪影響や農作物の被害が心配されています。

市では、外来生物に関する情報提供を広報やホームページを通じて発信しているほか、アライグマやカミツキガメの捕獲を行っています。



▲ 捕獲されたアライグマ

印西市の里山

市内には人と自然との長年の関わり合いによって形成されてきた里山が多く残されています。

この里山は樹林地、田畑、草地、水辺などいろいろな環境が混ざりあって、豊かな生態系を育む場としても注目されています。



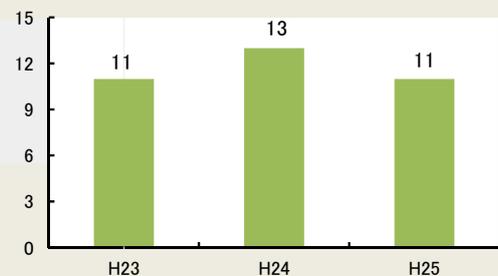
◀ 人の暮らしと自然が調和した風景

市では、市民参加による里山保全活動の充実を図るため、市民活動団体が実施する里山関連の行事を支援しています。

平成 25 年度の市内の里山保全活動団体数は 11 団体、里山関連イベントの開催数は 10 回でした。

● 里山保全活動団体数の推移

(団体)



◀ 草深の森

自然とのふれあい

「いんざい自然探訪」は、子どもから大人まで楽しみながら環境を学ぶことができる自然観察会です。平成 25 年度は草深の森や里山などで 3 回開催し、のべ 57 人にご参加いただきました。



▲ いんざい自然探訪 森の生きものはどこかな？

印西市は湖沼やその支流などたくさんの水辺に恵まれたまちです。

市では、水辺とのふれあいの機会を提供するため、県や流域市町と協力して水辺環境保全のためのイベントを開催しています。印旛沼では「印旛沼環境フェスタ」を実施しているほか、手賀沼では手賀沼流域フォーラム等のイベントや、市民参加による湧水調査及び水質・水生生物調査を実施し、市民の皆さんとともに良好な水辺環境の維持に努めました。



▲ 市民参加で水の中の生きものを調査しました

アクション！

緑や水辺を守り、自然と共生するために…

- “百聞は一見にしかず” 近くの里山や水辺に親しみましょう。
- 自然にやさしい有機栽培や、低農薬の農産物及び地産地消の商品を購入します。
- 生きものたちが生息している里山や生態系を知り、それらを残します。

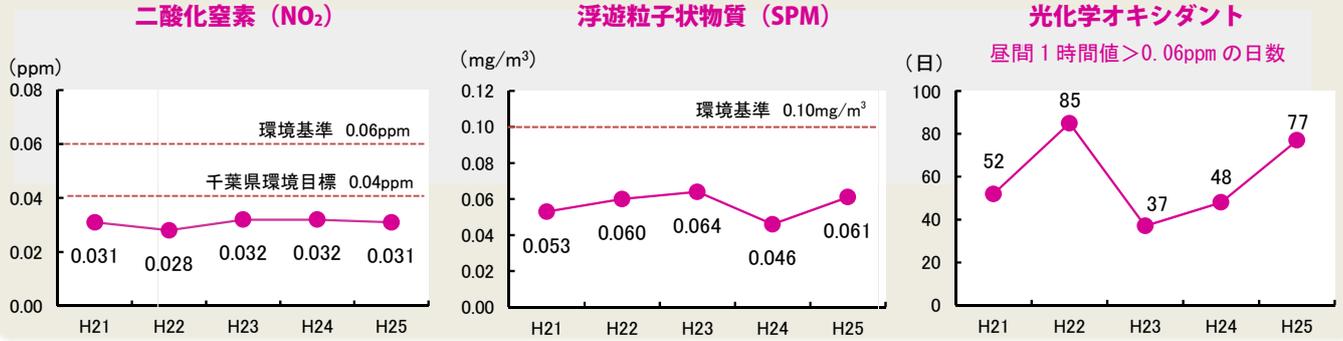


安心・安全に暮らせる、 環境に負荷を与えないまちを目指して

大気環境の保全

● 大気汚染物質濃度（高花測定局）

光化学オキシダント
環境基準超過日数 **77** 日



千葉県が設置する一般環境大気測定局（高花地区）では、大気質の測定を実施しています。二酸化窒素（NO₂）や浮遊粒子状物質（SPM）は継続的に環境基準を達成している一方、光化学オキシダントは環境基準を達成していません。印西地域では、平成 25 年度に 4 回の光化学スモッグ注意報が発令されました。市では大気環境を改善するため、工場・事業場への指導やエコドライブの普及に取り組んでいます。

水環境の保全

● 河川の BOD 濃度

師戸川で環境基準を超過

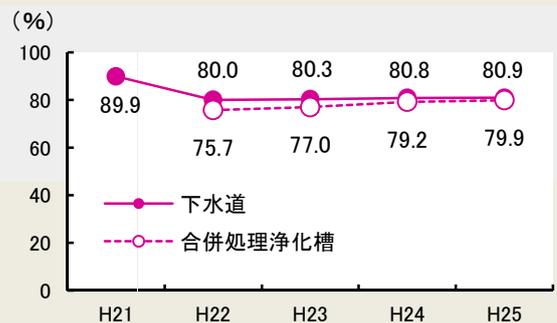


市では、市内 9 河川で年 4 回の水質測定を行っています。環境基準が設定されている 3 河川の BOD 濃度は、亀成川、神崎川では環境基準を達成しています。師戸川では上昇傾向にあり、平成 23 年度以降環境基準の超過が続いています。

皆さんの家庭からの生活排水は、水質汚染の原因の一つとなります。河川の水質を改善するために、公共下水道の整備や整備済み地区の水洗化、合併処理浄化槽の設置補助に取り組んでいます。

● 下水道普及率 ● 合併処理浄化槽普及率

80.9% **79.9%**

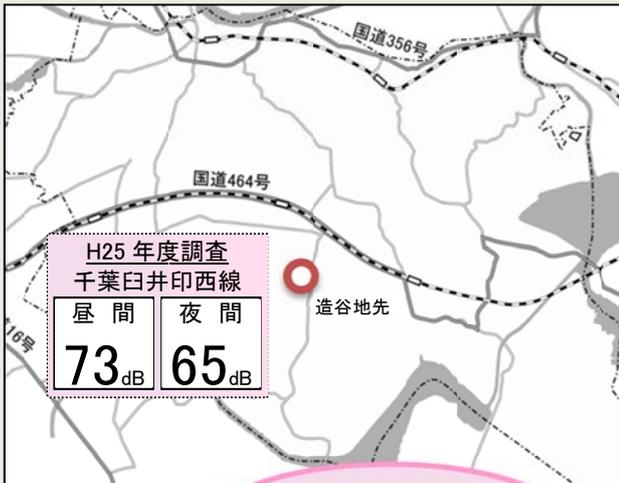


騒音・振動を防ぐ

市では、主要幹線道路において定期的に道路交通騒音の調査を実施しています。

平成 25 年度の道路交通騒音の面的評価は一般国道 464 号、千葉臼井印西線、八千代宗像線及び市道を対象として実施しました。このうち、千葉臼井印西線は 3~5 割の住居等で昼間に環境基準を超過していたことから、関係機関に調査結果を報告しました。

● 道路交通騒音の基準超過地点



「70dB の音」は、
電話のベルくらいだよ



印西市環境キャラクター
エコネ



▲ 定期的に空間線量率を測定しています

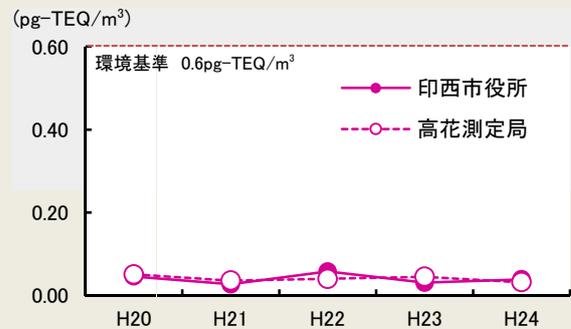
有害物質のリスク

身のまわりにどんな化学物質があるのか、またどんなリスクがあるのかを知ることは化学物質を上手に利用するために必要な知識です。例えば、殺虫剤や洗剤などは用法・用量に注意しないと、知らぬ間に体の中に取り込んでしまう危険性があります。

市では、大気中のダイオキシン類濃度を定期的に調査しており、平成 25 年度はいずれも環境基準を達成しました。

● 大気中のダイオキシン類濃度

環境基準達成



放射性物質対策

放射性物質による環境汚染に対しては、印西市放射性物質除染実施計画に基づき、公園や民有地、道路など子どもの生活空間から優先的に除染を行っています。

また、市内 171 箇所の公共施設で空間線量率の測定を行い、結果を広報やホームページ等で公表しています。なお、平成 25 年度は、国が示す基準値 $0.23 \mu\text{Sv/h}$ を超える箇所はありませんでした。

アクション!

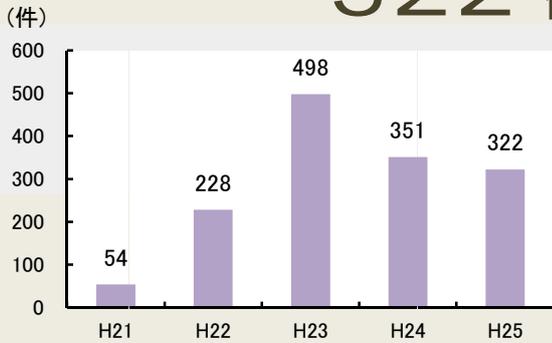
環境に負荷を与えず、安心・安全に暮らすために・・・

- 低公害車を購入・使用するよう努め、環境にやさしい運転(エコドライブ)の実践に努めます。
- 節水を心がけるとともに、食器等を洗う際には、
油分や汚れをふき取り汚水を出さないように努めます。
- 放射線に関する正しい知識を得て、行動します。

不法投棄の状況

● 不法投棄発生件数

322 件



平成 25 年度に市が把握した不法投棄発生件数 322 件のうち、68 件は市民からの通報によるものでした。市民の皆さんによる監視の目が**不法投棄の抑止・発見**につながっています。

322 件の内訳をみると、家庭ごみが最も多く (83 件)、家電製品や家具なども多くなっています。

市では、パトロールの実施や監視カメラの設置により、不法投棄の防止に努めています。

< H25 不法投棄内訳ランキング >

- 1 位 家庭ごみ・・・83 件
- 2 位 家電製品・・・76 件
- 3 位 家具・・・27 件

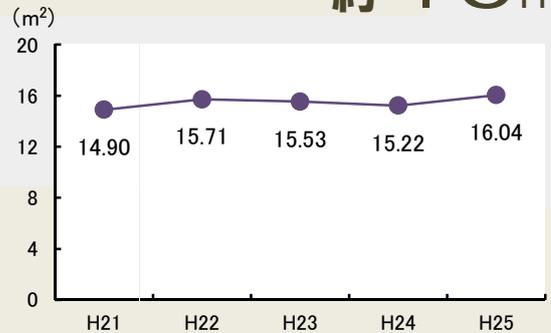


▲ 不法投棄されたゴミ

緑あふれるまち

● 1人当たりの都市公園面積

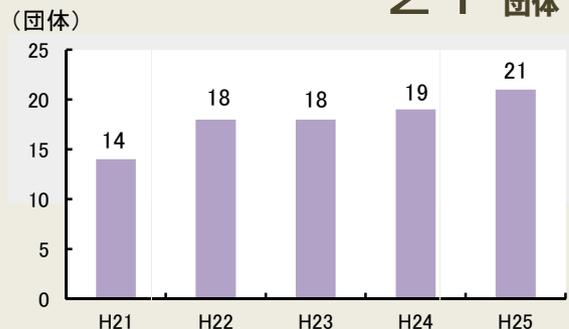
約 16m²



市内には、総合公園から都市緑地まで 133 箇所の公園があります。市民 1 人当たりの都市公園面積は約 16 m²で、千葉県全体 (約 6m²)、国全体 (約 10m²) を大きく上回っています。

● 美化協定締結団体数

21 団体



市では、公園美化活動を行う団体に対して、活動に必要な物品や用具を貸与・支給するなど、各種支援を実施しています。平成 25 年度の美化協定締結団体数は 21 団体となり、年々増加しています。

また、市民の皆さんのご家庭での緑化推進を支援するため、市の花であるコスモスの種の配布を行っています。



環境美化活動

市では、環境美化意識の高揚を図るため、市民団体や事業者と協力して「ゴミゼロ運動」、「クリーン印西推進運動」などの活動を実施しています。平成 25 年度の参加者数はのべ 102,896 人のほり、合計 52,570kg のごみが回収されました。

ポイ捨てをなくし、まちを美しく保つためには、一人ひとりが美化意識を向上させることが重要です。市では、重点区域の周知や指導、ごみ捨てマナーの啓発、パトロールによる監視などを継続的に実施しています。



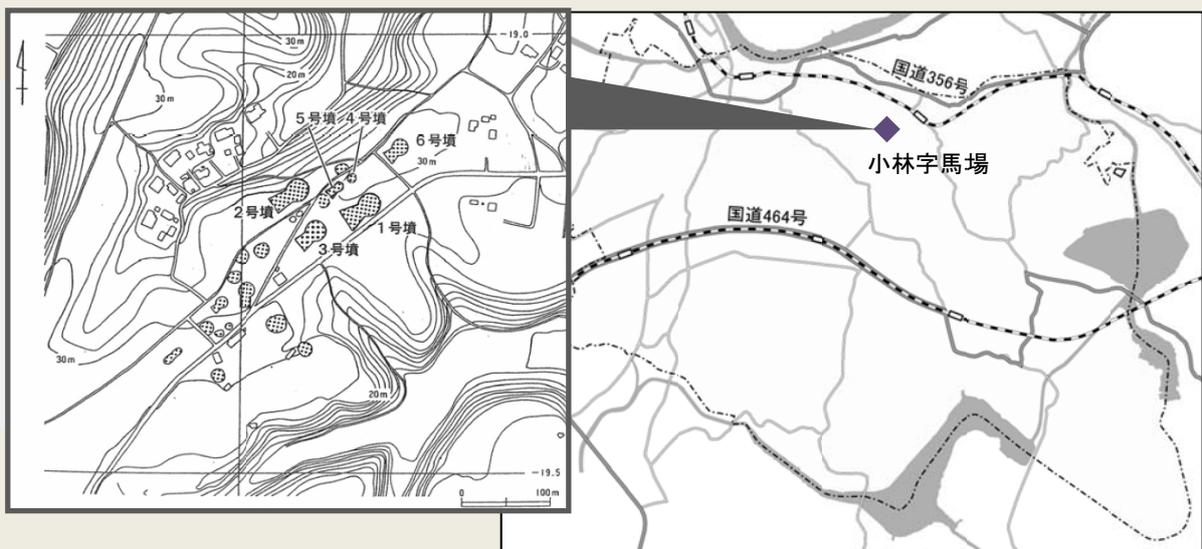
▲ ゴミゼロ運動 大人も子供もみんなでごみ拾い

歴史と文化

市内の指定文化財は、国指定文化財 6 件、県指定文化財 17 件、市指定文化財 25 件、登録文化財 1 件の合計 49 件となっています。平成 25 年度は小林字馬場の山林内に散在する「道作古墳」の文化財指定を行いました。道作古墳と周辺の里山環境を保全・活用するため、歴史広場として整備する計画です。文化財と一体となった緑地として、多世代が集い、さまざまな活動の場となることが期待されています。

この他にも文化財を活用する取組みを進めており、木下貝層の貝化石採集観察会、民具の出前講座、市史講座、印旛歴史民俗資料館における三匹獅子舞の企画展や勾玉づくり体験教室などを開催しました。

● 道作古墳群状況図



アクション!

美しく、快適なまちにするために…

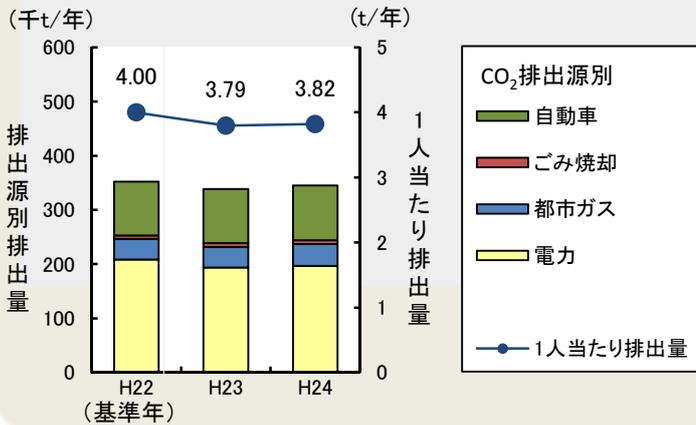
- ごみやたばこのポイ捨ては絶対にせず、ペットの散歩の際にフンなどは必ず持ち帰ります。
- 「ゴミゼロ運動」「クリーン印西推進運動」など地域の清掃活動に積極的に参加します。
- 地域の祭りや伝統行事に積極的に参加します。

低炭素社会の構築に向けた、地球環境に負荷を与えないまちを目指して

減らそう！CO₂

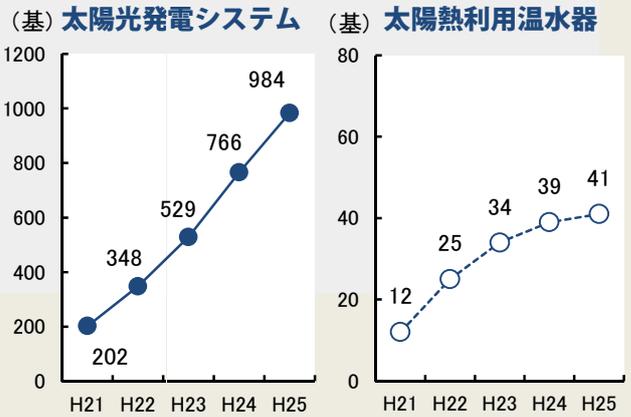
● 二酸化炭素 (CO₂) 排出量

市民 1人当たり **3.82t**



● 再生可能エネルギー設備の補助基数 (累計)

984 基 **41 基**



平成 24 年度の印西市における二酸化炭素 (CO₂) 排出量は、344,850t-CO₂ で、市民一人あたりの排出量は 3.82t-CO₂ となりました。基準となる平成 22 年度と比較すると、わずかに減少しています。

● 住宅用省エネルギー設備の種類

設備の種類	概要
太陽光発電システム	太陽の光で発電する設備
太陽熱利用温水器	太陽の熱でお湯を作る設備
家庭用燃料電池システム (エネファーム)	水素と酸素で発電し、同時にお湯を作る設備
定置用リチウムイオン蓄電システム	電気を蓄える設備
エネルギー管理システム (HEMS)	家電や電気設備とつないで、エネルギーを管理する設備
電気自動車充電設備	電気自動車を充電、また、電気自動車から住宅への電力供給が可能な設備

※対象となる設備には要件があります。

市では、一般家庭における再生可能エネルギーの利用を促進するため、平成 17 年度から太陽光発電システムや太陽熱利用温水器の設置補助を実施しています。平成 25 年度の補助件数は、太陽光発電システム 218 件 (累計 984 件)、太陽熱使用温水器 2 件 (累計 41 件) となりました。

また、新たに「家庭用燃料電池システム (エネファーム)」「定置用リチウムイオン蓄電システム」「エネルギー管理システム (HEMS)」「電気自動車充電設備」を補助対象設備に追加しました。

市の施設では、再生可能エネルギーの率先的な導入を推進しており、市役所屋上などに太陽光発電システムを設置しています。

公用車への低燃費車・ハイブリッド車の導入やグリーンカーテンの設置 (85 施設) など、市では率先して省エネルギー化、二酸化炭素削減の取組みを進めています。



◀ 内野小学校
太陽光発電システム

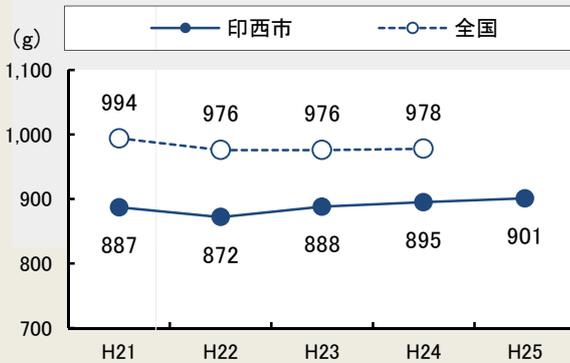


◀ 永治学童クラブ
グリーンカーテン

印西市のごみ

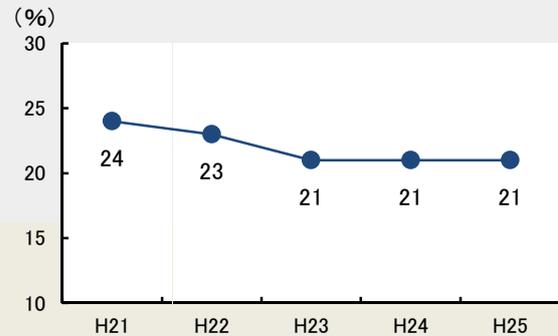
● 1人1日当たりのごみ排出量

901g



● ゴミの資源化率

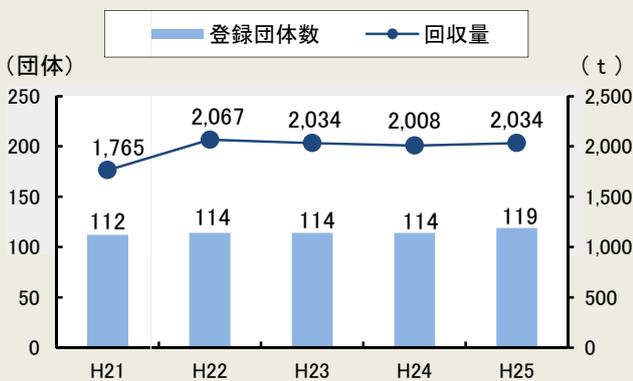
21%



平成 25 年度の 1 人 1 日当たりのごみ排出量は 901g となり、前年の 895g から 6g 増加しました。総資源化率は 21%でした。

ごみを減らす取組み

● 有価物集団回収登録団体数と回収量



ごみの資源化や適正処理も重要ですが、最も優先されるべき取り組みは「ごみを出さないこと」です。市では、広報誌やホームページを通じて情報発信を行っているほか、町内会を対象としたごみ減量化説明会や「マイバッグの利用に関する街頭啓発」、「ごみ減量・リサイクルに関する出前講座」、「ごみは宝 リサイクル施設見学会」、「ごみの分別が大事店」などの事業を実施しました。

また、資源として再利用できる有価物を集団で回収している町内会や子ども会、高齢者クラブなどの団体に対する支援を実施しています。平成 25 年度の有価物集団回収の登録団体数は 119 団体、回収量は 2,034t となりました。

アクション!

地球環境を守るために...

- 「環境家計簿」などを通して電気ガス、水道、ガソリンなどの省エネルギーに努めます。
- 外出の際には徒歩や自転車、公共交通機関を利用するよう努めます。
- 不要な商品を購入しないように努め、商品をできる限り長く使用します。

環境配慮行動の実践者を拡大し、 みんなで環境を育てるまちを目指して

学習機会の充実



自然科学体験



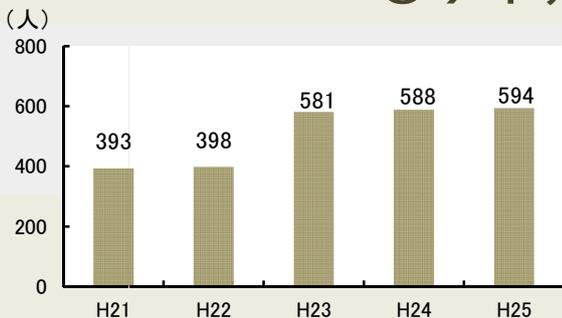
葉っぱでつくる
マイバッグ▶

環境問題解決の第一歩は一人ひとりが環境について学ぶことです。市では、教育センターや公民館などで里山観察会や自然散策、各種講座などを開催し、多くのご参加をいただきました。

将来の印西市を担う子供達への環境教育の推進を図るため、学校における環境教育の充実を図っています。学校支援ボランティア制度の登録数は増加傾向にあり、平成25年度は594人となりました。

● 学校支援ボランティアリスト登録数

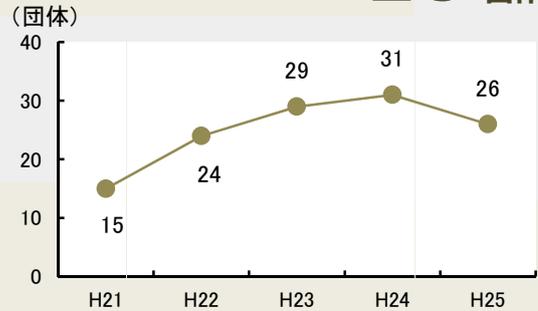
594人



行動してみよう!

● 環境活動団体数

26 団体



市では、環境保全活動を行う NPO など市民活動団体への支援を行っています。市で把握している環境活動団体数は26団体となっています。

もっと! 知りたい人は

「平成26年度版 印西市環境白書 本編」
「印西市環境基本計画」
をご覧ください。

行動してみたい人は

「印西市環境行動指針」
日常生活の中の環境配慮行動を掲載しています。
「広報いんざい」
環境に関するイベントや講座開催をお知らせ。

発行: 印西市
編集: 環境経済部 環境保全課
〒270-1396 千葉県印西市大森 2364-2
TEL: 0476-42-5111
<http://www.city.inzai.lg.jp/>
トップ → 暮らしの情報 → ごみ・環境・ペット

アクション!

みんなで環境を育てるために...

- 環境に関するイベント、施設見学等に積極的に参加し、環境の現状を理解し学びます。
- 環境に関して得た情報を家庭や子どもたちと話し合い、実践につなげます。